

【教材・教具名】 水耕栽培セット	【教科・領域】 作業学習（高等部 屋外作業班）
【教材の使用材料】 （別紙写真参照） <ul style="list-style-type: none"> ・ ペットボトル ・ 遮光用シート（新聞紙で代用） ・ スポンジ ・ ティッシュペーパー ・ プラスチックケース 	【購入場所】 100円ショップ
【ねらい】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 雨天時でも室内で植物や野菜の栽培をする。 ・ 栽培活動を通して達成感を味わう。 	
○使用方法 ☆作り方（大葉の栽培を想定して） <p>A：種まきセット</p> <ol style="list-style-type: none"> ①スポンジを切って、上部に十字の切れ目を入れる。 ②スポンジの切れ目に大葉の種を置き、ティッシュペーパーを敷く。 ③水を入れ、日当たりのよい所に置く。 <p>B：栽培セット</p> <ol style="list-style-type: none"> ①ペットボトルの上部を切って図のようにひっくり返して蓋にする。 ②ペットボトルの口のところにスポンジと発芽した苗を入れる。 ③藻の発生を防ぐため、ペットボトルの下の部分は遮光する。 ④水を入れ（週に1回、液肥を入れる）、日当たりのよい所に置く。 ○工夫した所 <p>ペットボトルの切り口でケガをしないようにテープを貼っている。 材料費がほとんどかからない。</p>	
○効果 <ul style="list-style-type: none"> ・ 室内栽培なので、雨の日や冬の時期の作業として取り入れられる。 ・ 基本的に水の交換だけなので、重度の生徒でもやり方を覚えて安全に取り組める。また、苗を差し込む部分と水を入れる部分が分かれているので、苗を握ったりちぎったりしてしまうという心配も無い。 	
○参考文献・URL 「水耕栽培 大葉」で検索するといろいろ出てきます。	



教材・教具写真



スポンジを切って十字の切れ目を入れる。切れ目に大葉の種を蒔き、水をケース半分くらい入れ、乾燥を防ぐためにティッシュペーパーを上にかぶせる。

スポンジに蒔いた種が発芽し、根が出るようになったらペットボトル栽培に移行する。はじめは 500 ml のペットボトルで、更に成長したら大きめのペットボトルを使用する。数日おきの水の入れ替えと、週 1 回程度の液肥の使用が必要である。



暑くなると藻が発生しやすくなるので、藻の発生を防ぐために遮光用シートを使用する。ここでは、新聞紙で代用している。